

結果(平均正答率) (国語・数学ともに向上) 単位:%

【国語】	H30	H31	【数学】	H30	H31
第五中	66.0	73.0	第五中	54.5	59.0
東大和市			東大和市		
都	70.0	74.0	都	58.0	62.0
国	68.6	72.8	国	56.5	59.8
市との差			市との差		
都との差	▲ 4.0	▲ 1.0	都との差	▲ 3.5	▲ 3.0
国との差	▲ 2.6	+ 0.2	国との差	▲ 2.0	+ 0.8

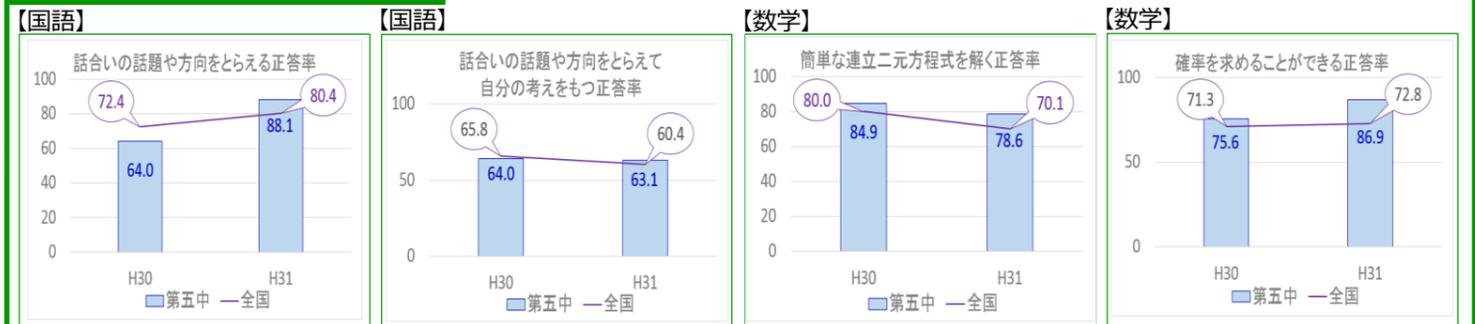
【国語】

国の平均正答率を上回った。

【数学】

国の平均正答率に僅差まで迫った。

学力が向上した要因 (授業や朝の帯時間、放課後の補習で反復学習を継続した効果) 単位:%



生活指導 (学力向上を支える基盤の指導)

全教職員が生活指導観を統一して「社会性の向上」と「学力の向上」にチームで取り組む意識の徹底を継続する。

- **ジュンカイダー(校内巡回)**
全教職員が通年で空き時間に全学級を巡回して生徒の学習態度を複眼的に観察し、所属学年にとらわれずに全校生徒を指導することによって落ち着いた学習環境を維持する。
- **生活指導報告書の作成**
問題行動が発生した際には、統一した書式に指導の経過を記録して全教員で情報を共有化することによって、全生徒の学習権を保障する。

社会性の向上 (学びの素地の指導)

学校を「公の場」とし社会規範や協力・協働の大切さ、向上心をはぐくむために「学校生活の自己評価」を実施し、学校生活や家庭生活の基礎を養う。

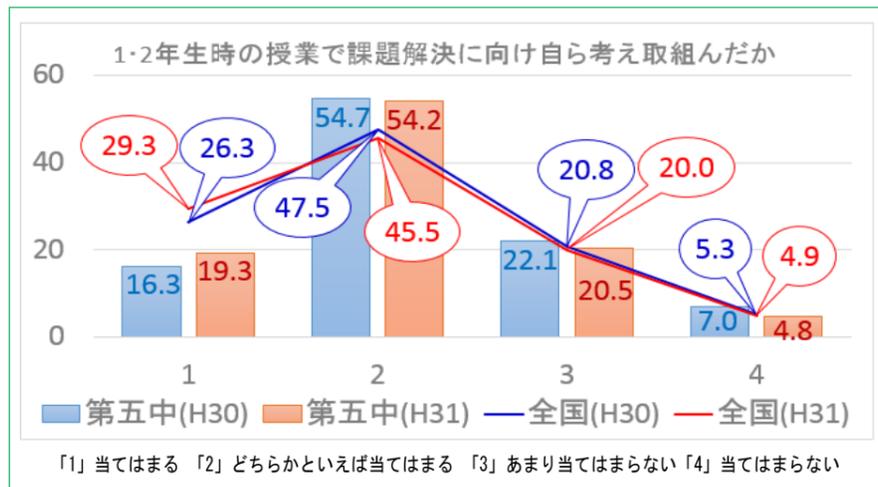
- **学校生活の自己評価**
学期末に(3回/年)生徒へ規範意識(時間を守ること、身だしなみ、マナーなどの気遣い)や向上心(学習)を「学校生活の自己評価表」を用いて振り返らせ、自己理解を促す。
- **家庭教育の啓発**
7・2・1の取組み(7時間の睡眠、2時間の家庭学習、登校1時間前の起床)の生活習慣を身に付けさせる。

学力の向上 (学びの手立て)

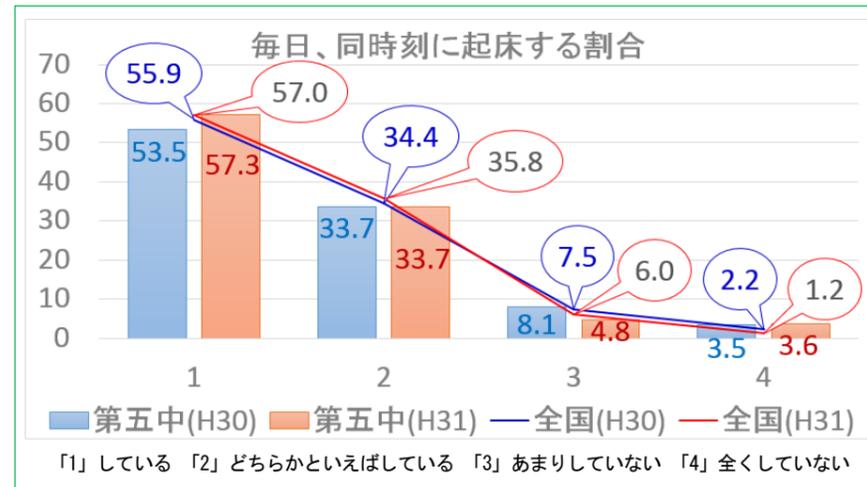
- **授業と生活指導チェックカード**
全教員が自己の学習指導力を高めるために毎月「指導力の向上に努めているか」などのセルフチェックをし、自己研鑽を積む。
- **家庭学習記録シート**
全教科担任が計画的に生徒へ宿題を課して家庭学習にめあてをもたせ、学習状況を継続して記録することを通して学習習慣を身に付けさせる。
- **朝の書き写し読書**
物語文・説明文の書き写しを通して国語の文章に慣れ親しむ。
- **単元テスト(国語)**
国語科では昨年度中に単元テストをプレ導入し、定期考査に偏重しない学習活動を実践
- **放課後の補習**
学年団で教科担任を支援し、教科を越えて放課後の補習に取り組む。
追試学習会(単元テストの再テスト)
漢字大学校(漢字テストの再テスト)
- **外部機関の事業の活用**
地域未来塾事業(放課後の補習に塾講師を招へい)、日本漢字能力検定・実用英語技能検定への受検を奨励

生徒質問紙の結果 (学びの向上心と家庭生活の改善) 単位:%

● 主体的に学習に取り組む態度の改善



● 家庭生活(生活習慣)の改善



シナジー (相乗効果) 単位:%

- 学校生活と家庭生活の改善は生活態度の改善に生かされ、食育(給食)にも効果が表れると考えられる。



成果と課題

【国語】 単位:%

	出題の趣旨	評価の観点	年度	第五中	国	差
成果	話合いの課題や方向を捉える。	話す・聞く能力	H30	64.0	72.4	▲ 8.4
			H31	88.1	80.4	+ 7.7
成果	話合いの課題や方向を捉えて自分の考えをもつ(的確に話す)。	話す・聞く能力	H30	64.0	65.8	▲ 1.8
			H31	63.1	60.4	+ 2.7
課題	文章の構成や展開、表現の仕方について根拠を明確にして自分の考えをもつ	読む能力	H30			
			H31	57.1	63.9	▲ 6.8

【数学】 単位:%

	出題の趣旨	評価の観点	年度	第五中	国	差
成果	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。	数学的な技能	H30	84.9	80.0	+ 4.9
			H31	78.6	70.1	+ 8.5
成果	確率を求めることができる。	数学的な技能	H30	75.6	71.3	+ 4.3
			H31	86.9	72.8	+ 14.9
課題	問題可決の方法を数学的に説明することができる。	数学的な見方や考え方	H30			
			H31	27.4	34.7	▲ 7.3

成果と課題の分析

● 成果

「話す・聞く能力」の向上は、各教科で生徒の発言を促す指導に取り組んできたことによる。

【取り組み例】

社会	グループで協議して考えを発表し合う。
数学	互いに自分の考えを伝え合う。
美術	自分の作品を自身の価値意識をもって発表する。
保健体育	筋道を立てて作戦について話し合う。

● 課題

国語・数学がともに根拠を基に説明する力が習得できていない。漢字や計算等の反復学習で対応できるものは成果が表れているが、自己の考えを深めることについては学びが深まらない。

特に数学では、生徒の習熟の程度に応じて個別に支援していかなければ学びのつまずきに立ち返ることが困難な状況である。

成果を継続させる取組み

● 定期考査の廃止【新規】

生徒の習熟の程度をきめ細かく把握して学びを立ち返る指導を徹底するために定期考査を廃止し、単元テストを全教科に導入した。

《単元テストの実施状況》

教科	1組	2組	3組	備考
英語	5/8水	5/8水	5/8水	単語
国語	5/11土	5/14火	5/17金	
英語	5/13月	5/9木	5/9木	
社会	5/7火	5/7火	5/8水	
理科	5/7火	5/8水	5/7火	
英語	5/16木	5/16木	5/16木	単語
数学	5/31金◎	5/31金◎	5/31金◎	一斉!
国語	5/11土	5/14火◎	5/17金◎	
国語	5/23木◎	5/23木◎	5/22水◎	
理科	5/20月◎	5/20月◎	5/21火◎	
社会	5/22水◎	5/22水◎	5/24金◎	
音楽	5/16木◎	5/15水◎	5/20月◎	
英語	5/30木◎	5/30木◎	5/30木◎	
英語	5/27月	5/27月	5/27月	単語
国語	6/13木◎	6/10月◎	6/10月◎	
理科	6/17月◎	6/17月◎	6/18火◎	
美術	6/17月◎	6/21金◎	6/18火◎	
社会	6/17月◎	6/18火◎	6/17月◎	
英語	6/20木◎	6/20木◎	6/20木◎	
国語	6/21金◎	6/20木◎	6/24月◎	
英語	6/6木	6/6木	6/6木	単語
英語	6/13木	6/13木	6/13木	単語
英語	6/20木◎	6/20木◎	6/20木◎	単語

考えを深める力を伸ばすための取組み

書き写し読書の改善

- 朝の帯時間で取り組む書き写し読書の題材として説明文に焦点を当てる。
- 2学期以降は優れた説明文を厳選し、論理的に読み取る力をはぐくむ。
- 漢文の書き下し文も導入して文法に親しませる。

朝の絵画鑑賞(仮称)【新規】

- 武蔵野美術大学と連携して朝の帯時間で絵画鑑賞を行い、作品から感じたことを言葉で整理して批評し合う。※第2学年で先行的に効果検証中

少人数・習熟度別指導法の改善

- 基礎的・基本的な「数学的な技能」を未習得な学習集団へは、「数学的な技能」の定着を図る指導を継続する。
- 習熟度の高い学習集団へは、相互に考えを表現し合う場面を増やし、言語活動を高める。

今後の課題

- ▲ 学年全体としては「数学的な技能」は向上したが、本技能を未習得な生徒が多くいる。
- ▲ 基本的な計算の仕方等を未習得な生徒には個別の学習指導が効果的であるが、放課後の補習を支える外部の人材や予算が不足し、学習支援が拡張できない。
- ▲ 授業中に理解が深まらない生徒への支援に一層応える必要がある。

課題の解決に向けて

- 地域未来塾事業だけでは予算に限りがあり外部の人材の確保が困難なため、教育ボランティア事業(図書カードの供与)の活用を図る。
- 明星大学や教職を目指す社会人と連携し、教育ボランティアとして数学と英語の授業や放課後の補習の支援を要請する。
- 上記による人材の確保を通して個別指導の機会を拡張する。